

# 支柱2本で遮断機式手すりが設置できます。

Webで詳細図面をご覧ください。

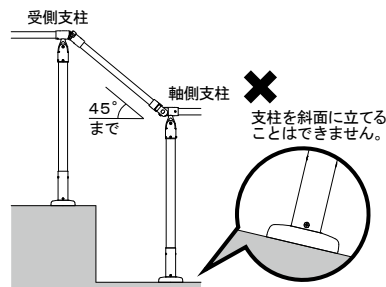
- 省スペース、省コストで遮断機式手すりが設置できます。
- 支柱が揺れてもキャッチソケットがはずれにくい機構なので安心です。
- φ35・φ32の手すり棒どちらでも使用できます。
- カットして高さを低くすることが可能です(下からカットしてください)。
  - ※アジャスト式で高さを微調整できます(調整可能寸法20mmまで)。
- BAUHAUS 木製手すりシリーズと組合せてのご使用を推奨しております。
  - ※裸用脱着手すり棒、ロングスパン1400、35強化コート手すり棒、丸棒手すりはお使用になれません。
- 木製手すりシリーズと組合せて、手すりを連続させることができます。(連続させず遮断機の部分のみを使われる場合は、付属のエンドキャップをご使用ください。)
- 各種施設でもご使用いただけます。
- 急に振り下がることがないよう緩衝ストップ機構がついています。
  - ※キャッチソケットからはずされた時に手前(水平方向)に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。



※手すり棒は別売です。

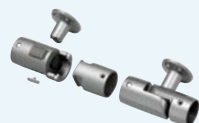
### ⚠️ 施工上のご注意

- 手すりの傾斜角度45°まで使用可能です。
- 手すりの傾斜角度が45°を超える場合は、ご使用にならないでください。
- 手すりに傾斜をつけてご使用になる場合は、軸側支柱が必ず傾斜下部になるよう設置してください。
- 支柱を斜面に立てることはできません。
- 室内用手すり遮断機式支柱は他の遮断機式ブラケット・遮断機式手すりジョイントと併用させることはできません。

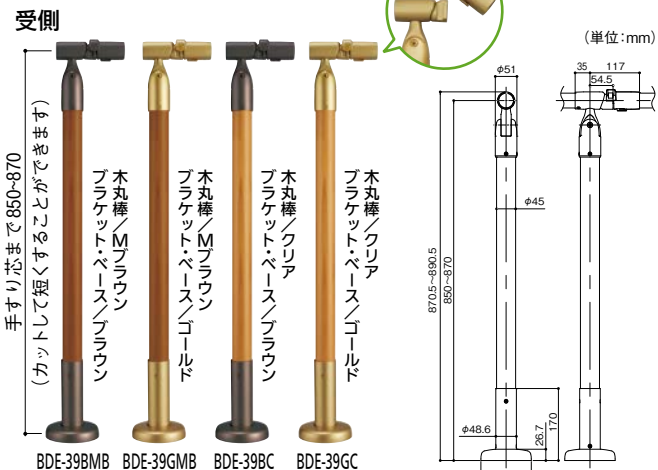
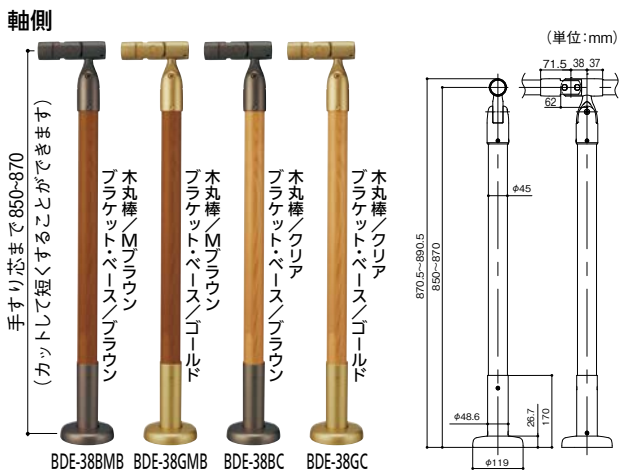


壁固定タイプは P.188~

BAUHAUS 遮断機式手すりブラケットシリーズ



## 室内用手すり遮断機式支柱



ベースプレートサイズは、P.182をご覧ください。(共通)

ベースプレートサイズは、P.182をご覧ください。(共通)

**軸側付属品**

①なベタッピンねじ6×40 6本  
オールアンカー-M10×60 3本  
座金ナットM10用 3個  
②丸皿タッピンねじ3.5×20 5本  
③丸皿タッピンねじ4×20 3本(支柱上部固定用)  
φ32アダプター 2個  
エンドキャップ 1個

**受側付属品**

①なベタッピンねじ6×40 6本  
オールアンカー-M10×60 3本  
座金ナットM10用 3個  
六角棒スパナ(呼び5) 1本  
④丸皿タッピンねじ3.5×20 4本  
⑤丸皿タッピンねじ4×20 2本(支柱上部固定用)  
φ32アダプター 2個  
エンドキャップ 1個

マツタ 室内用手すり遮断機式軸側支柱 木製タイプ			
商品コード	色	品番	価格
040-7035	Mブラウン+ブラウン	BDE-38BMB	1本 <b>45,600円</b> (税抜き)
040-7036	Mブラウン+ゴールド	BDE-38GMB	
040-7037	クリア+ブラウン	BDE-38BC	
040-7038	クリア+ゴールド	BDE-38GC	

マツタ 室内用手すり遮断機式受側支柱 木製タイプ			
商品コード	色	品番	価格
040-7040	Mブラウン+ブラウン	BDE-39BMB	1本 <b>42,800円</b> (税抜き)
040-7041	Mブラウン+ゴールド	BDE-39GMB	
040-7042	クリア+ブラウン	BDE-39BC	
040-7043	クリア+ゴールド	BDE-39GC	

●材質:丸棒/天然木、ブラケット/アルミ合金、ベース/スチール、ベースカバー/スチール

●材質:丸棒/天然木、ブラケット/アルミ合金、ベース/スチール、ベースカバー/スチール

最新情報は  
こちらから



バリアフリー

手すり

屋外用手すり

室内用手すり

トイレ用手すり

浴室用手すり

据置式手すり

手すり以外の商品

感染症対策

玄関

階段・廊下

トイレ

浴室・洗面所

寝室・居間

屋外

バリアフリー

金物

接着・テープ・

清掃・補修

水まわり

防犯

耐震・防災

収納・内装

ペット用品

建築資材

道具・工具

お役立ち

コーナー

豆知識

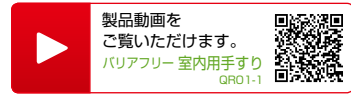
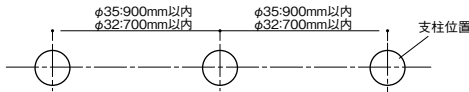
ご利用方法



施工方法

BAUHAUS 室内用すすり支柱の施工

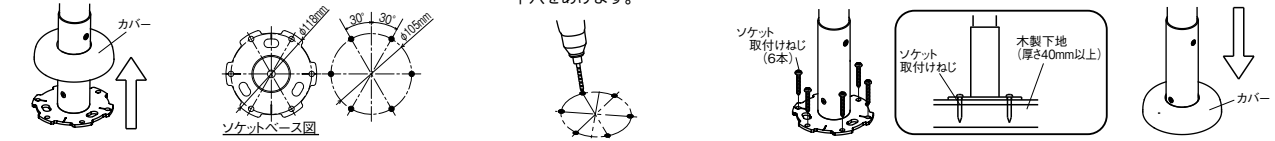
1. 支柱位置を決めます。



2. 支柱を取付けます。

【木製下地の場合】

- ①カバーをはずします。
- ②取付け穴の位置に墨だしをします。
- ③φ4.8mm 深さ40mmの下穴をあけます。
- ④付属のソケット取付けねじで6か所を固定します。
- ⑤カバーをかぶせます。



【コンクリート下地の場合】

- ①カバーをはずします。
- ②取付け穴の位置に墨だしをします。
- ③φ10.5mm 深さ45mmの下穴をあけます。
- ④付属のソケット取付けアンカーを3か所に打ち込みます。
- ⑤アンカー用座金ナットで締め付けます。
- ⑥カバーをかぶせます。

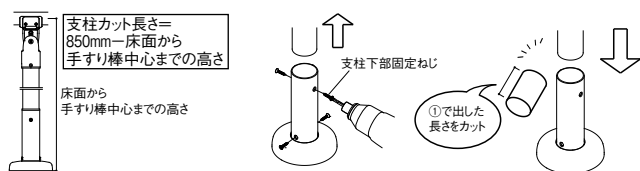


※畳への設置はできません

3. 高さ調整をします。

【高さを低くする場合】※木製タイプのみ

- ①床面からすすり中心までの高さを決め、支柱のカット寸法を出します。
- ②支柱下部固定ねじを4か所はすし、ソケットから支柱を抜きます。
- ③支柱をカットし、ソケットに差込みます。

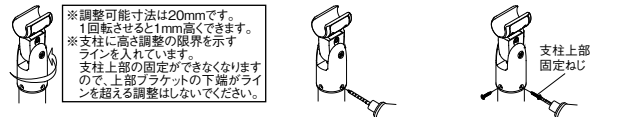


- ④φ3.2mmの下穴をあけ、②ではずした支柱下部固定ねじで4か所を固定します。
- ⑤φ3.2mmの下穴をあけ、付属の支柱上部固定ねじで2か所を固定します。



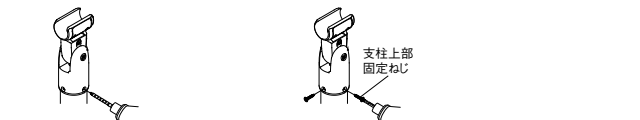
【高さを高くする場合】

- ①支柱上部を左へ回転し、高さを決めます。
- ②φ3.2mmの下穴をあけます。
- ③付属の支柱上部固定ねじで2か所を固定します。



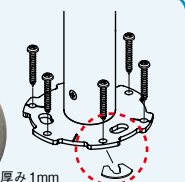
【高さを調節しない場合】

- ①φ3.2mmの下穴をあけます。
- ②付属の支柱上部固定ねじで2か所を固定します。



不陸調整はこちら P.253

支柱を立てる場所が水平でない場合はスペーサーで微調整してください。1か所につき2枚まで使用できます。スタンド用調整スペーサー 厚み1mm

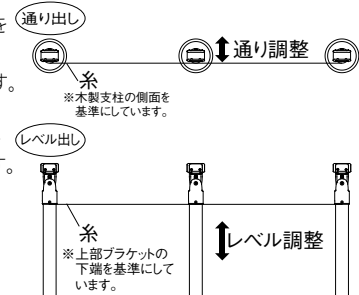


参考

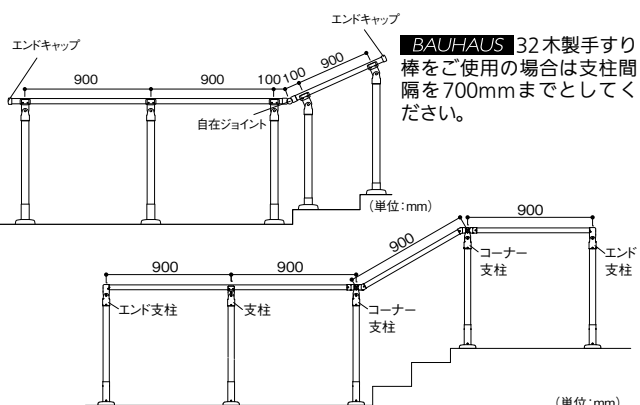
支柱を3本以上使用する場合は通り出し、レベル出しをする場合

【手順】

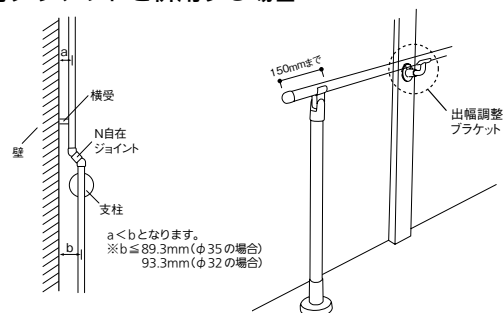
- 施工手順の『2. 支柱を取付ける』際に、床面への固定を仮固定とします。
- 基準とする位置(通り・レベル)を決め、両端の支柱間に糸を張ります。
- 中間の支柱の位置(通り)を張り出した糸に合わせます。
- 支柱を完全に固定します。
- 高さを調整し、中間の支柱の位置(レベル)を張り出した糸に合わせます。



BAUHAUS 35セレクトシリーズとの使用例



壁付ブラケットと併用する場合



BAUHAUS 32 木製すすり棒をご使用の場合は端部持ち出し寸法を140mmまでとしてください。※室内用すすり支柱とセレクトシリーズの横型ブラケットを併用される場合は、出幅調整ブラケット又はN自在ジョイントをご使用ください。